

令和5年度の保険料につきましては、7月に個別にお知らせします。

## 保険料の計算方法

$$\begin{array}{r}
 \text{均等割} \\
 (\text{1人当たりの額}) \\
 51,892\text{円}
 \end{array}
 +
 \begin{array}{r}
 \text{所得割} \\
 (\text{本人の所得に応じた額}) \\
 (\text{令和4年中の所得}-\text{最大43万円}) \\
 \times 10.98\%
 \end{array}
 =
 \begin{array}{r}
 \text{1年間の保険料} \\
 (\text{限度額66万円}) \\
 (\text{100円未満切り捨て})
 \end{array}$$

1年間の保険料の上限額は66万円です。

年度の途中で加入したときは、加入した月からの月割で計算します。

前年の所得金額により、43万円の控除額が異なる場合があります。

【お問合せ先】  
 役場住民課保険グループ  
 TEL 0164-32-2410 (直通)

## 保険料のお支払い方法

保険料のお支払いは、原則「年金からのお支払い」となります。

口座振替を希望される方は役場住民課保険グループにお問い合わせください。

次のいずれかに当てはまる方は、「年金からのお支払い」ができないため、「納付書」か「口座振替」にて納めてください。

年金からのお支払いができない場合…

- ・介護保険料が年金から引かれていない方（年金額が年額18万円未満の方）
- ・介護保険と後期高齢者医療の保険料の合計額が、介護保険料が引かれている年金の受給額の半分を超える方
- ・新たに制度に加入された方の半年の期間

※保険料のお支払いが困難な場合は住民課保険グループへご相談ください。災害、失業などによる所得の大幅な減少、そのほか特別の事情で生活が著しく困窮し、保険料のお支払いが困難な方については、保険料の減免を受けられる場合があります。

## ジェネリック医薬品を利用するには

### ジェネリック医薬品とは

医療機関で処方される薬には、新薬（先発医薬品）とジェネリック医薬品（後発医薬品）があります。

新薬と同等の効果・効能を持ち、厚生労働省の基準を満たしている安全なお薬です。

ジェネリック医薬品を利用すると、お薬代が安くなります。薬によって異なりますが、新薬より3割以上、中には5割以上安くなるものもあります。

### ジェネリック医薬品を希望される方は

ジェネリック医薬品の処方を希望される方は、医師や薬剤師にその旨を伝えるか、医療機関や薬局の窓口で「希望カード」を提示することによりお願いすることができます。

希望カードが必要な方は住民課保険グループまでお問い合わせください。